

④ 指針の示す目盛りを読み取る。

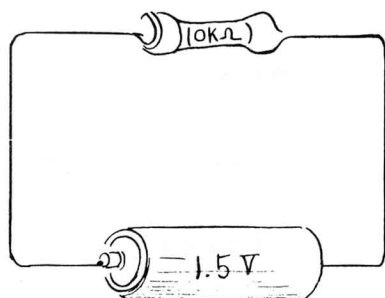


図-10

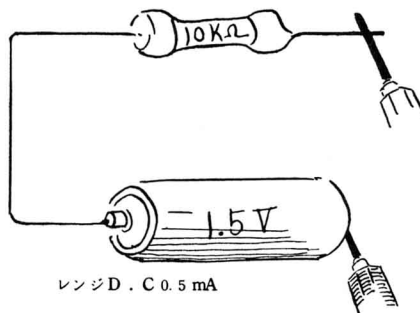


図-11

図-10の場合、流れる電流は

$$I = \frac{V}{R} \text{ から } \frac{1.5}{10 \times 1000} \text{ A}$$

つまり 0.15 mA 程度。理振規格の電流計では測れません。しかし、テスターなら大丈夫。

図-11は、その測定の様子を示しています。電流はおよそ 0.15 mA と予想できるからテスターのレンジ切り換えは DC.mA 0.5 mA (機種によっては 1 mA) でいいわけです。

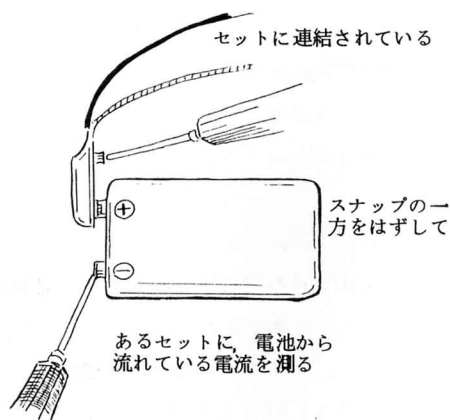


図-12

(4) 抵抗の測定

図-13, 14をごらん下さい。

- ① レンジ切り換えつまみを〔Ω〕にあわせる。(本例では×10とした)
- ② 赤、黒のテストピンを接触させると針は大きく振れます。このとき 0 Ω 調整器を回して針が 0 を指すようにする。
もし、0 Ω 調整器を回しても針が 0 を示さないときは、概してテスター内の電池の不良によるものだから、新しい電池と交換する。
- ③ 被測定物の両端にテストピンをあてる。
- ④ このときの針の示す目盛りを読む。

図-14を見て下さい。針は12を示しており、またレンジは×10にあわせてあ